



2017 年度
自由学園 最高学部（大学部）

科目聴講生 募集要項

～最高学部の講義を聴講してみませんか～

(1年間・半年など様々な受講が可能です)

最高学部は社会に向かって開かれた大学部を目指して、多くの開講科目を学外の方々にも開放しています。2017年度は対象科目を刷新し、これまでの約3倍の科目で聴講を受け入れます。最高学部として新たに開講する科目も多くあります。

社会人としての経験に照らして、それぞれの学問分野の現在に接していただくならば、必ずや新しい発見があるに違いありません。それは本学学生にとっても、大きな刺激となります。ぜひこの機会に、積極的にご参加くださるよう、お誘い申し上げます。

自由学園最高学部長 渡辺 憲司



出願資格・手続き・問合せ先について

	一般聴講	リビングアカデミー(LA)学生聴講
出願資格	高等学校卒業程度の学力を有し、 下記A～Cのいずれかに該当する者 A：自由学園卒業生 または中途退学者 B：自由学園関連団体の方 (現・旧父母会, 友の会, 協力会員*, 婦人之友社など) C：上記以外 *協力会はどなたでも入会できます。詳細は自由学園webサイトをご覧ください ※地球市民教育フォーラムはどなたでも聴講出来ます。詳細は自由学園webサイトをご覧ください	リビングアカデミー2017年度在學生 ※上記以外の方は、左の一般聴講をご覧ください
出願書類	自由学園最高学部教師室にて配布 ①願書(所定用紙) ②履歴書(所定用紙)…初めての出願者のみ ③写真(縦3cm×横2.5cm)2枚(スピード写真可、再出願は1枚) ④健康診断書(所定用紙)*胸部X線必須、1年以内の診断書 職場・保健所等の医療機関で1年以内に受診している場合は、既にある診断書のコピー、または証明書が良い	LA事務局にて配布
出願手続	<ul style="list-style-type: none"> ・期間：2017年3月6日(月)～4月5日(水)必着 ・方法：郵送 または 持参 ※提出場所・持参可能時間は下記問い合わせ先をご確認ください ※秋期開講科目は9月末日を締切とします。締切日後の申込は各問合せ先へご相談ください ※一度申し込んだ講座を変更することは出来ません 	
選考	<ul style="list-style-type: none"> ・選考：書類選考 ・発表：書面にてお知らせいたします ※講義によって、面接を行なう場合がありますので、該当者は出願受付後に連絡いたします ※聴講許可がおりた場合、その連絡にあわせてその後の手続方法、学費の納入についてお知らせいたします 	
学費	<ul style="list-style-type: none"> ・登録料…出願資格 A・B：1,000円 (初出願者のみ) C：6,000円 ・聴講料…1単位12,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録料…無料 ・聴講料…1単位6,000円
※単位数は中頁をご参照ください。(2単位・4単位の科目は、上記の金額に単位数をかけた金額になります) ※講義開始後、途中から受講した場合や、欠席した場合の聴講料の減額や返金はありません ※受講生が一定数に満たず閉講となった場合は、登録料・聴講料を返金いたします ※テキスト代をご負担いただく科目や、各自でテキストをご用意いただく科目もあります		
出願・問合せ先	自由学園 最高学部教師室 科目聴講担当 電話：042-422-4389(直通・Fax兼用) mail：auditor@jiyu.ac.jp 平日：9:00～17:00 土曜：9:00～12:00	自由学園 リビングアカデミー事務局 電話：042-428-3876・042-422-1094(直通・Fax) mail：la@jiyu.ac.jp 平日：9:00～17:00 土曜：9:00～12:00
住所：〒203-8521 東京都東久留米市学園町1-8-15 web：http://www.jiyu.ac.jp/		

最高学部4年課程3年次への編入学を希望する方は、教師室へお問い合わせください。
 受験資格：自由学園最高学部2年以上の課程を卒業または修了した者

科目聴講について

聴講期間：原則として学期ごと（春期：4月～7月・秋期：10月～2月）
通年科目は1年を通して聴講することも可能です。

授業時間：1限（08：50～10：30） 2限（10：40～12：20）
3限（13：45～15：25） 4限（15：35～17：15） 5限（17：25～19：05）

注意事項：※上記の期間外に補講を行うこともあります。
※本学の行事や教員のやむを得ない理由により休講することがあります。受講手続き時に配布する年間予定表や、講義内でのアナウンスをよくご確認ください。緊急の場合はご連絡します。
※通年科目の半期受講の場合、単位は半分になり、聴講料も通年の半額となります。
※申込者多数の場合や、在学生の学習に妨げがあると判断された場合は、受講をお断りする可能性があります。
※他の受講生や在学生への迷惑となる行為が認められた場合は、受講開始後でも、その後の受講をお断りすることがあります。
※受講生が一定数に満たない時は、閉講することもあります。
※学内の図書館は聴講期間に限りご利用いただけます。詳細は聴講許可がおりた後ご案内します。

聴講科目：聴講可能科目は一覧のとおり、最高学部の教養科目と技能科目の一部です。
*科目履修後、当該科目の試験に合格したうえで請求があれば、履修証明書を交付します。
*昨年までの公開講義「国文学」「キリスト教価値観」は終了しました。

2017年度 最高学部 聴講可能科目

分野	科目名	担当教員	対象	時間	期間	単位
総合	方法論基礎・人間論	咲花昭嗣, 杉原弘恭, ほか	2年	木1	春期	2
	授業のねらいと到達目標(履修要件・開講日) 人文学・社会・自然・形式科学の基礎的な方法面や論文の書き方を学び、アプローチの例を人間をテーマに学びます。					
総合	フィールド研究基礎	杉原弘恭, 吉川慎平, ほか	2年	木1	秋期	2
	自由学園教育の基盤ともいべきフィールド研究（「本物に触れる」）の基礎講義を多面的に行う。					
総合	地球市民教育フォーラム	高橋和也, 咲花昭嗣	1年, 2年, 3年, 4年	土2	特別	0
	年3回の特別講義。いまの社会が抱える課題と、より良い社会を創り出していくために必要な視座を獲得することを目指す。新たな気付きと知見を得る貴重なチャンスになるので、多くを学ぶ機会にしてほしい。（聴講申込・詳細は自由学園webサイトをご覧ください。）（4/15大豆生田先生、9/30講師未定、2/17講師未定）					
人文	日本文学	室永優子	2年	木3	通年	4
	自分が生まれ育ったこの日本という国の「文化」。それは知らず知らずのうちに自分の一部になっている。講義を通してそういう知らなかった「自分」を発見し、今、世界から日本文学はどう見られているのか、日本人である自分に何ができるかを探る。					
人文	文化人類学	大坪玲子	3年, 4年	月4	通年	4
	文化人類学の全体を概説する。総合人類学の4つの分野である自然人類学、考古学、言語人類学、文化/社会人類学について、学問としての特徴をそれぞれ述べると共に、それが組み合わされていることの意味を解説する。調査地のイエメン共和国を具体的な事例として取り上げる。					
人文	現代史入門	市岡揚一郎	1年, 2年, 3年, 4年	火2	通年	4
	現代史の学び方を学ぶ。歴史上の出来事がなぜ起きたか、登場する主要人物が何を考えていたかを考察するとともに、第二次大戦前・中・後の出来事がいまなお日本現代社会にトゲとして刺さり、私たちの思考や行動を制約していることを検証する。 学生一人一人が拙くとも、それぞれの歴史観を醸成することが最終的な目標。					

分野	科目名	担当教員	対象	時間	期間	単位
授業のねらいと到達目標(履修要件・開講日)						
人文	考古学	奈良忠寿	1年, 2年, 3年, 4年	火3	通年	4
	<p>学園内に保管されている考古学資料を活用し、考古学的視点よる日本の原始・古代の歴史を学ぶ。主に講義形式で展開するが、作業・実習も含めた履修者・教師双方向からのアクションが生まれるような方法も補講期間等に行う。</p> <p>到達目標は、知識だけでなく思考方法も理解し、自身の「武器」として使えるようになること。</p>					
人文	哲学・思想1S	谷博行	1年	木1	春期	2
	<p>西洋哲学の古代、中世を取り上げ、西洋の思想の基礎である、真理、普遍、客観がどのようにとらえられたかを理解することを目標とする。その際、多くの場合、それらは神あるいは絶対者と呼ばれるが、あくまでも哲学として取り上げていくつもりである。</p>					
人文	日本文化史	渡辺憲司	3年, 4年	木4	通年	4
	<p>江戸時代を中心とする日本文化の特質について学び、時代考証の力をつける。</p>					
人文	哲学・思想1F	鈴木雄大	1年	金1	秋期	2
	<p>現代哲学の基本的な問題について学ぶ。それを通じて物事を根本的に考え直すことや、自分が当たり前と思っていることから一旦離れ、別の考え方の可能性を探る訓練などをする。</p>					
情報	情報理解基礎	大柳陽一	1年	水1	春期	2
	<p>「情報を得ること」や「情報を発すること」は、現代社会に生きる上で最も重要な素養の一つと言えるでしょう。昨今では加えてその「内容」がシビアに問われています。本講義では、情報の構造と情報化の手法を学ぶとともに「情報品質」を高めるための方法について多角的に考えます。並行して知識とは何かについて検討します。(ノートパソコン持参が望ましい。)</p>					
情報	IT社会基礎	杉原弘恭, ほか	1年, 2年	水1	秋期	2
	<p>日本も「就社」から「就職」、「学歴・肩書き」から「資格・キャリア」社会になってきています。本講義は資格取得のためのハウツウ講義ではなく、IT化した社会で働くために必要な情報・経営・財務分析の基礎知識を広く学び、背後にある基礎的な考え方やロジカルな思考を学ぶことを目標とします。</p>					
情報	情報活用実習	大柳陽一	2年	木5	通年	4
	<p>本講義の目的は、身の周りの事象をどのように捉え、情報化が可能であるか、及び、その一連のプロセスを学ぶことと、得られた情報を再構成すること、即ち「システム」とは何かを考えることにあります。生活の中の様々なモノに焦点をあて、それらがどのように成立しているか、それぞれの関わりや仕組みについて掘り下げます。(ノートパソコン持参のこと。)</p>					
社会	企業・業界分析	杉原弘恭	3年, 4年	月5	秋期	2
	<p>就職の際の会社分析、仕事での相手企業の把握や投資などで求められるようになってきている、国際会計対応の財務3表から、企業を分析できる力だけではなく、財務3表を経営立案に使う力を養います。</p>					
社会	史的ホリスティック教育入門	成田喜一郎	2年, 3年, 4年	水4	通年	4
	<p>史的ホリスティック教育とは何か、現在と歴史との対話の中で考えるための理論と方法を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史的ホリスティック教育学の理論について、具体的な事例を通して理解することができる。 ・史的ホリスティック教育学の実践について、エスノグラフィーを書き伝えることができる。 					
社会	経営と経済・社会	杉原弘恭, ほか	1年	木2	通年	4
	<p>社会科学(経営学・経済学・社会学)の基礎を学ぶことを通じて、理論的な思考法を身に着けることを狙いとします。現実には起こっている経済・環境・社会問題を表面現象的にとらえるのではなく、そのメカニズムを理論的に理解でき、問題解決を考えられることを目標とします。</p>					
社会	経営学	杉原弘恭	3年, 4年	木3	通年	4
	<p>どのような分野の仕事に従事しても、随所でマネジメント能力が求められることから、応用がきく基礎的な考え方・見方を習得し、マネジメントからガバナンス能力へ発展させることを目標とします。</p>					
社会	生活とデザイン	中村祐二	3年, 4年	木3	通年	4
	<p>デザインとは美しい形を作るだけでなく、生活の中に新しい考え方や物を“創り出す”ことです。生活の中の物や変化してきた事柄を見つめ、デザインの考え方を生かしてこれからの私たちの生活をどのようにデザインしてゆくか具体的なモノを通して考える。</p>					

分野	科目名	担当教員	対象	時間	期間	単位
	授業のねらいと到達目標(履修要件・開講日)					
社会	教育と社会	咲花昭嗣	2年	木4	通年	4
	「教育」を見るまなざしが人によって大きく異なるのは、それが自分自身の体験・経験と深く関わっているからである。この講義では、多面的に「遊ぶ」「学ぶ」「関わる」といった営為を見ることで、教育に対する新しいまなざしを獲得したい。					
社会	心理学	竹瀝香織	2年, 3年, 4年	金4	通年	4
	皆さんの多くが「人の心が分かったらいいのに」と思ったことがあるのではないだろうか。心理学は、「こころ」を理解することを目指す学問である。本講義では、心の仕組みや働き、心の健康な発達、障害や不適応などの心の問題、という視点から心理学を学ぶ。心理テストやワークを体験し、自分自身への理解を深めていく。					
社会	グローバル化とは	郷田敬	2年, 3年, 4年	金5	通年	4
	グローバル化という言葉が頻繁に使われているが、それは何を意味し、我々にどのような影響を及ぼしているのだろうか。この問題について色々な角度から学んでいく。15世紀以降の世界を俯瞰的に見ていき、人類がどのような過程を経て今日の世界に至ったかを理解する。そして現在の世界に出現している様々な課題を検証する。					
自然	生物科学基礎	養老瑛美子	1年	月2, 木1	通年	4
	生物の分類、細胞の構成や機能、細胞間コミュニケーション、進化等、あらゆる生命現象を考えるための基礎を学ぶ。この授業での学びを通して、遺伝子組換え食品、がん治療、再生医療、生物多様性の維持、環境問題等、生命科学に関する現代の社会問題にも関心を向け、論理的かつ科学的に考える力を身につける。(春期は月2・秋期は木1に授業を行なう)					
自然	公衆衛生	夏井正明	2年	月2	春期	2
	将来にわたり必要となる「医学・医療」の諸問題についてわかりやすく解説する。数多の健康情報が氾濫する中、最新の正確で客観的な(エビデンスに基づく)医学知識は、これから質の高い生活を送る上で、基礎となるものと考えている。					
自然	栄養学	深川卯子	2年	月2	秋期	2
	I 栄養学の基礎や食事との関係などを学び理解することによって、今後の生活に応用し、心身ともに健康な生活を送る事ができるようになること。II メタボリックシンドロームは生活習慣と食事の摂り方が大きな影響を持つが、食べ物の選び方や、食べ方を各自が食生活を賢く選択できるようになること					
自然	地球システム科学	星川熙	1年	火1	通年	4
	春期：我々を取り巻く最も大きな自然である「宇宙」について調べます。 秋期：宇宙の中での地球の立ち位置とそこでの生物の有り様について勉強します。					
自然	物体の運動と力	星川熙	2年	火2	春期	2
	自然現象を物理的な側面から理解しようとするときの基礎的な法則である「力学」について勉強します。					
自然	物質の構成要素と性質の理解	神明久	2年	火2	秋期	2
	本講義は、身近な水という物質を通して、原子とそれらが作る分子の特性について理解を深める。世界は原子から成り立っており、あらゆる物質文明はその性質に影響を受けてきた。従って、原子、分子を通して物質を学ぶことは、世界を作ってきた大きなルールの一片を学ぶことに通じる。					
自然	生物科学特論S	柏木めぐみ	2年	水3	春期	2
	地球上に存在する多様な生物について、生物学という分野を通して学ぶ。さらに身近な栽培種や家畜がどのような育種過程を経て利用をされてきたのか、生物生産学的な知見を通して理解する。そして、生命現象について、さまざまな段階を切り口にして生物の生活を理解する。					
自然	生物科学特論F	蟻川謙太郎, 畠山瑛子, ほか	2年	木3	秋期	2
	1) 生物学における基本的な考え方をすること。 2) 行動の基盤としての神経系のはたらきを理解すること。 3) 研究方法には、それぞれ可能性と限界があることを知ること。					
自然	情報の表現Ⅲ	大柳陽一	3年, 4年	木4	通年	4
	音響/映像資料作成の理論と手法を学びます。撮影計画の立案、機材設営の作業などの取り組みをOJT的に行ない、一連の作業から、論理的、合理的な思考や判断の能力、機敏な行動力を身に付けることがテーマです。情報を生み出し発信する意義と、その困難さについて、映像資料制作の実体験の中に感じ取ってもらいたいです。(ノートパソコン持参のこと。)					

分野	科目名	担当教員	対象	時間	期間	単位
	授業のねらいと到達目標(履修要件・開講日)					
自然	人体生理学	夏井正明	3年, 4年	木5	通年	4
	ヒトが「生きている」状態とはどのようなことなのか、最新の知見に基づき平易に解説する。ヒトの身体は外部環境・内部環境の変化にとまどい、どのような対応「変化」をしているのか。日常生活で感じる様々な疑問に答えるかたちで、エビデンスに基づく「ヒトの生理」が理解できるように解説する。(学外研修制度利用生は水5・木5の2コマ授業で半期履修とする)					
語学	中国語1	羅 敏	1年, 2年, 3年, 4年	月3	通年	2
	この授業では、中国語の発音、簡体字、基本的な文法表現を学習し、中国語の基礎を習得します。また、練習や課題等を通して中国語に親しみ、学期終了までに簡単な中国語の文章が読めること、旅行、買い物、挨拶など、簡単な日常会話レベルの中国語を身に着けることが目標です。					
語学	中国語2	内田知行	2年, 3年, 4年	月3	通年	2
	1年生のときには『中国語レッスン初級1』をテキストにして初級の内容を勉強しました。2年生では、この勉強を発展させて、『中国語レッスン初級2』を学習します。平易な表現を使用して、自分の考えを中国語で発表できるレベルに到達することを目標にします。(中国語1を履修済みの者のみ登録可能。ただし、中級以上の語学力のある者はその限りではない。)					
語学	TOEFL English	鈴木バーバラ	3年, 4年	火2	通年	4
	The purpose of this class is to develop students' ability to communicate in English through speaking, listening, reading and writing.					
語学	ネパール語1	丹羽充	1年, 2年, 3年, 4年	火3	通年	2
	この授業では、ネパール連邦民主共和国の公用語であるネパール語を学びます。春期にはネパールワークキャンプに向けて実践的な表現の学習を、秋期には細かな文法を学習します。授業ではネパールの歴史や文化にも触れ、皆さんの好奇心と学習意欲を刺激していくつもりです。					
語学	TOEIC English	丹羽充	2年, 3年, 4年	火4	通年	2
	TOEICは、とりわけ今日のビジネスの世界では、英語力の尺度としてもっとも広く受け入れられている試験のひとつです。この授業では毎回の単語テスト、演習および解説を通して、各自がTOEICのListeningとReadingでそれぞれ100点アップさせることを目指します。(TOEICのListeningで200点以上を、Readingで150点以上をすでに取得していることを履修要件とする)					
語学	ネパール語2	丹羽充	2年, 3年, 4年	火5	通年	2
	昨年度、「ネパール語1」を履修した学生を対象に、より高度なネパール語の学習へと進みます。ネパール語での日常会話に「楽しんで」参加するのに必要な文法事項を一通り学ぶこととなります。(ネパール語1を履修済みの者のみ登録可能。ただし、中級以上の語学力のある者はその限りではない。)					
語学	デンマーク語2	Lise Schou	2年, 3年, 4年	木4	通年	2
	1: 基礎語彙や文法を学び、デンマーク語で表現すること。2: 趣味、家族、学校の日課や計画などについて、情報を交換し、話しをできること。3: デンマーク語の発音を理解すること。4: デンマーク語の文章を読むこと。(デンマーク語1を履修済みの者のみ登録可能。ただし、中級以上の語学力のある者はその限りではない。)					
語学	デンマーク語1	Lise Schou	1年, 2年, 3年, 4年	木5	通年	2
	1: 基礎合意や文法を学び、デンマーク語で表現する。2: 趣味、家族、学校の日課や計画などについて、情報を交換し、話しをできる。3: デンマーク語の発音を理解する。					
感性	被服学演習	加地泰子	1年, 2年, 3年, 4年	木5	通年	2
	衣服は誰もが一生身に着けるものである。年齢、体型、障害の有無にかかわらず、全ての人に精神的に豊かな衣生活をおくるためには何が必要か、被服学の基礎を学びつつ、実際に布に触れる機会も持ち、様々な観点から被服を捉えていく。(被服学概論を履修済みの者のみ登録可能。ただし、裁縫の基礎技術・知識のある者はその限りではない。)					
感性	被服学概論	加地泰子	1年, 2年, 3年, 4年	金5	通年	4
	衣服は誰もが一生身に着けるものである。年齢、体型、障害の有無にかかわらず、全ての人に精神的に豊かな衣生活をおくるためには何が必要か、被服学の基礎を学びつつ、実際に布に触れる機会も持ち、様々な観点から被服を捉えていく。					
ライフデザイン	スポーツと生きがい	早野曜子	2年, 3年, 4年	火3	秋期	2
	スポーツと生きがいに関わっているか。生涯にわたってスポーツに関わっていくことの意義やその重要性について理解を深める。スポーツの概念が文化により異なることなど、事例をあげながら、スポーツを多角的に捉える。ゲストスピーカーとしてスポーツジャーナリストのロバート・ホワイティング氏を迎える予定。					